

Useful Tips

Google で世界の美術館を巡ってアート作品を楽しむ

URL: <http://www.googleartproject.com/ja/>

Google Art Project は、40 カ国以上、250 以上のミュージアムの協力を得てオンライン上で見ることができる、絵画など美術作品のアーカイブだ。日本を含む世界各地の有名なミュージアムにある作品とミュージアム館内をストリートビューで見ると同じ感覚だ。作品を拡大縮小することもできる。

「日本に来てせっかく見に行ったのに人だかりでじっくりみることができなかった」、「学会の開催都市のあの美術館に行く時間がなかった」といった場合も、ここでは誰にも気兼ねすることなく、時間も気にせず見ることができる。忙しい業務のなかでもひとときこんな時間もいかがだろうか。

Google Art Project

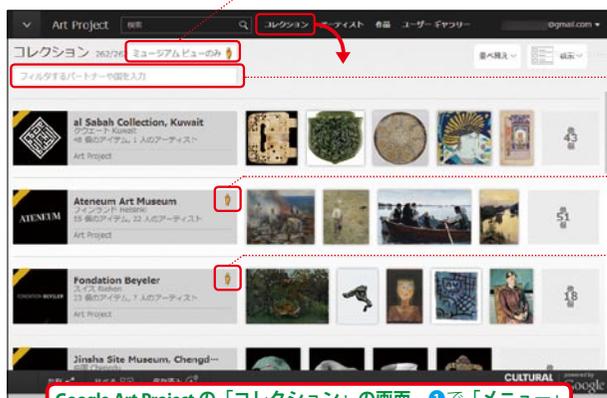


コレクション：ミュージアム、コレクションごとに表示。
アーティスト：アーティストごとに表示。
作品：人物、風景など作品の種類ごとに分類。
ユーザー・ギャラリー：Google ユーザーが公開しているギャラリーごとに表示。
マイギャラリー：自分の気に入った作品を登録してリストをつくることできる。



1 **Google Art Project** (<http://www.googleartproject.com/ja/>) 世界の 250 以上のミュージアムの作品を Web 上で見ることができる。美術作品のアーカイブプロジェクトだ。

ミュージアムをストリートビューで楽しむ



ミュージアムビューのできる施設だけに絞る。

見たい施設名や地域名を入れて絞ることができる。ただし、世界中のすべての美術館や博物館があるわけではない。現在は 262 施設が登録されており、ミュージアムビューができるのは 73 施設である（2013 年 7 月現在）。

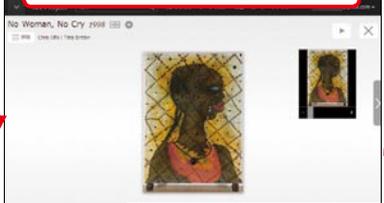
① マークのついているところのみ、ミュージアムビューで館内をみることもできる。



イギリスの国立博物館の **Tate Britain** (テート・ブリテン) で検索してみる。📍マークがついているので、**ミュージアムビュー**で館内を見ることができる。右の「205」という数字は、Tate Britainの中の今表示している5アイテムのほかに「**205アイテム**」を見ることができるという意味である。

3 **クリック** **企画展示**などが登録されていれば、**出展されているアイテムや案内などを企画展示ごと**にみることができる。

登録されているアイテムであればアイテムを単独で表示することができる。



4 **クリック** 施設で公開しているアイテムを順番にみていくことができる。左上にある「**絞り込み**」で画家などのアーティストや種類などで絞り込むこともできる。



拡大表示：かなり詳細に拡大することができる。

ミュージアムビュー：使い方は「ストリートビュー」同じである。すべてのアイテムが見れるわけではないが、絵の前に立って絵に近づくこともできる。登録されているアイテムであれば、そのアイテムの情報を見ることもできる。

全画面表示：大型モニターであれば、全画面表示で結構臨場感も楽しめる。



館内図：館内すべてを見れるわけではないが、行きたい場所をクリックするとその場所へ行ってくれる。

登録アイテムリスト：登録しているアイテムのオン・オフができる。

見たいアイテムをクリックするとミュージアムビューでそのアイテムの前へ移動してくれる。

好きな絵や作品などをマイギャラリーに登録しておけば、いつでも好きなものだけを観賞することができる。仕事で疲れたときや、美術館・博物館を見に行く前の下見などにもよいだろう。(2013年8月10日作成)